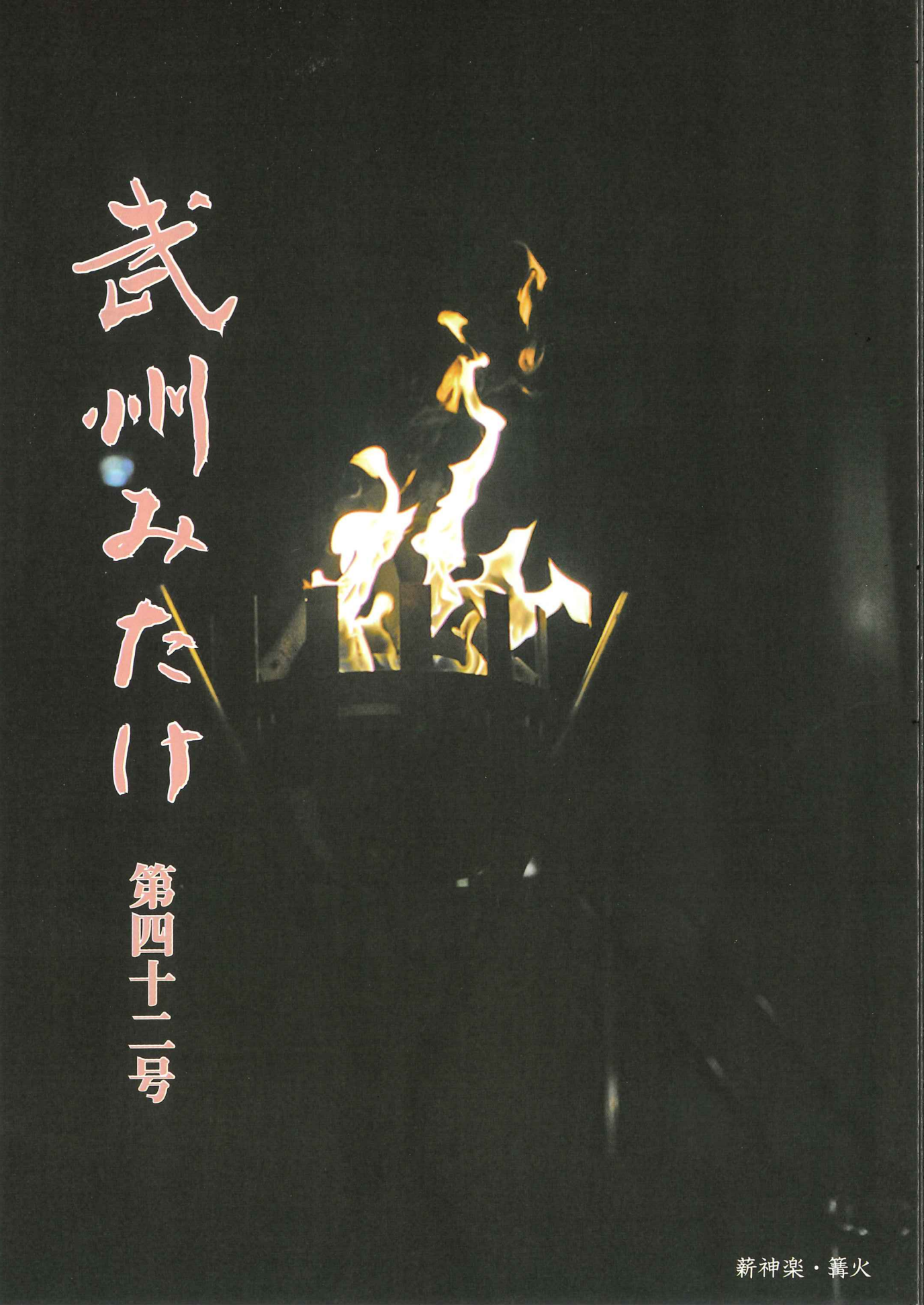
武州みたけ

第四十二号



薪神楽・篝火

大雪

総代　久保田　直行

近年温暖化の影響で気候の変動が激しくなっているようです。昨年の夏は暑く、今年はそのまま暖かい冬と予想しておりました。毎年山上の雪掃きは五・六回位行い道路を開けます。立春の四日に三十センチ位、八日に九十センチ位の大雪。そして十四日は一メートル以上の大雪、雪掃きは五日に半日、九日より三日、そして十五日より長い雪掃きが始まりました。十五日朝は玄関は雪で埋まり出られません。ケーブルは運休し、山上は雪一色になってしまいました。

まず家より参道（公道）まで人が通る位の道開けと雪捨て場を作り、その後参道の道開け一輪車・軽トラックなどで段々広く掃いていきました。

山の歴史の中で今までなかった大雪、住民全員がそれに立ち向かい怪我も無く道が開けた事、今後住民の自信と絆が深まった事だと思います。

また、喜ばしい事がありました。山の方にお世話になったといって十八リッター入灯油缶を背負い、雪の中　何時間もかけ届けた奇特な方がいました。ほんとうに頭が下がりました。

今年の大雪、神社の階段から始まり参道・ケーブル線路の雪掃き、自衛隊・機動隊を始め沢山のボランティアの人達のおかげで十日間の幕がおり、大変お世話になりありがとうの一言です。今後の大雪に対して神社・自治会・観光協会・ケーブル等により対策委員会を立ち上げる事が決まりました。

自然への畏れ

私たちの生活は日々進歩し、快適な環境へ進んでいると言われております。しかし、猛暑・暖冬、逆に冷夏や豪雪など自然環境の変化が著しいとも言われております。二月の大雪では当社は積雪二メートルを超え、吹きだまりは四メートルを越えました。ケーブルは運行不能、登山道は封鎖状態となり、山上は十日間に渡り孤立致しましたが、多くの方々のご協力により、事なきを終えました。こんにち快適とされる生活が本当に進歩の形として正しいのか、皆で考える時期になっているのかも知れません。また、大勢の方々のお力をいただき、人と人との繋がりの重要さを再確認致しました。この度、ご協力下さいました大勢の方々、多くの関係機関の皆様に、今一度、深く感謝いたします。

奉納

営繕資金（一万円以上・敬称略）

平成二十五年九月一日～平成二十六年一月三十一日

十万円以上

神奈川県秦野市　大津舜
狭山市　入曽の獅子舞保存会

三万円以上

東京都江戸川区　㈱荒井電業社　代表　荒井清一郎
青梅市　松浦哲志
八王子市　山崎工務店　山崎明
青梅市　八木岡照義
瀧柱郎

一万円以上

東京都北区　鈴木寿代
東京都江戸川区　松浦哲志
あきる野市　小野源一
東京都武蔵村山市　㈲サンペアー　進藤喜一
新座市　髙野鉄夫
新座市　並木利夫
新座市　田中誠治
東久留米市　五十嵐剛
当山　宝亭本店
東京都青梅市　株式会社清水製作所　代表取締役　清水浩久
S・H・Iデンタルクリニック

式年大祭（一万円以上・敬称略）

平成二十五年九月一日～平成二十六年一月三十一日

十万円以上

あきる野市　高瀬講中
神奈川県川崎市　長岡勝美
川崎市　片柳慎吾
横浜市　川窪やすし

五万円以上

東京都青梅市　新町御嶽講中
埼玉県富士見市　吉野敏之
西多摩郡瑞穂町　有限会社金咲通産　代表　金崎強
東京都大田区　㈱ティエラ・リサ・セシール　本道真智子
東京都国分寺市　中原千明
東京都武蔵村山市　有限会社サンペアー　代表　進藤喜一

三万円以上

東京都練馬区　港御嶽講　岡村正昭
江戸川区　佐藤明子
東京都板橋区　大明講　宇田川洋子
東京都三鷹市　宮島賢也
東京都青梅市　横内公秀　民恵
神奈川県横浜市　野崎隆矩
神奈川県横浜市　中山一弘
東京都江戸川区　中山文恵
東京都西多摩郡　榎本敏弥
埼玉県新座市　株式会社島田造園土木
埼玉県川口市　岩崎隆生
東京都昭島市　濱中宗祐
埼玉県所沢市　中嶋理明
東京都八王子市　中　久寿
埼玉県さいたま市　三箇龍仁
正野孝・千明

一万円以上

東京都練馬区　井之口喜實夫
東京都練馬区　加藤一弘
東京都江東区　新野梢
東京都町田市　新倉良三
埼玉県上福岡市　中村浩義
埼玉県富士見市　鶴馬紺屋　横田登
埼玉県狭山市　松本和治
東京都練馬区　太田武
東京都羽村市　中里保
東京都中野区　小俣章
東京都昭島市　甘利マリ子
坂戸市　吉野勝利
東京都羽村市　渡邉真理
東京都青梅市　橋本甲子夫
埼玉県さいたま市　竹村共代
入間市　森田順一
東京都小金井市　富田和久
埼玉県志木市　田中満男
東京都青梅市　市川良子
岩手県九戸郡　仲條結
あきる野市　田中嘉幸
東京都中央区　銀座ダックス　ダックス巳作
神奈川県横浜市　前島淳

御岳山の行事

平成二十六年

一月　一日　元旦祭
　　三日　太占祭
二月　三日　大口真神社祭
　　初午　節分祭
　　十一日　稲荷社祭
三月　八日　紀元祭
　　下旬　春季大祭（祈年祭）
四月二十一日　奉納俳句奉告祭
　　二十九日　産安社祭
五月　七日　奉納剣道大会
　　八日　日の出祭（宵宮）
　　十五日　日の出祭（神輿渡御）
六月　十五日　男具那社祭
　　二十一日　大口真神社祭
　　二十二日　神楽と雅楽の一般公開
　　三十日　修行体験講座（一泊）
七月　十九日　夏越大祓
　　二十一日　レンゲショウマ祭り（～九月二十三日）
九月　二十日　滝行体験講座（日帰り）
　　二十一日　修行体験講座（一泊）
　　六日　カンタンを聴く会
　　十三日　薪神楽
　　十四日　薪神楽
　　二十九日　大口真神社祭
十月　十三日　流鏑馬祭
　　中旬　神楽と雅楽の一般公開
十一月　八日　江戸みたけ祭り
　　二十三日　秋季大祭（新嘗祭）
十二月　十四日　末社祭
　　二十三日　山岳マラソン
　　三十一日　天長祭
六月～十一月　第四日曜日　大祓
毎　月　八日　夜かぐら
毎　日　月次祭
　　日供祭

●●講中を訪ねて●●

中清戸講

講元　並木　浩

約十年ほど前から、父に代わり講元を務めさせて頂いております。

戦争中閉鎖されていた講中だったそうですが、戦後再開されてから、片柳主幹宮司の元にお世話になるようになったと先代から聞いております。

講中の皆さん方も御嶽山に参拝に訪れるのを楽しみにしている方も多いようです。

数年前に初めて代表参拝に参加された若手の方が、神社や御嶽山という山にも心を動かされたそうで、御嶽講を改めて大切に思ったそうです。

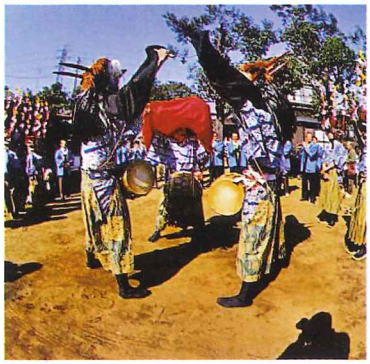
所在地　東京都清瀬市中清戸
講員数　二十五名
主幹宮司　片柳　正俊

宮ノ脇講

神職　金井　格

講元の石田昇さんにうかがうと宮ノ脇講中は明治の初めに講を結んだと伝えられているそうです。現在は三十戸の講員を籤により五班にわけ六人ずつ毎年参拝し、六年に一回講結びを行い全員で参拝をする形をとっています。

この地域の歴史は大変古く、毎年、下新倉氷川神社秋祭りに奉納される和光市無形文化財「ささら獅子舞」は室町時代、元亀三年（一五七二年）に始まったと伝えられています。講元の石田様宅はこの獅子舞の用具一切を預かる宿元としても代々ご活躍され、講員の皆様をはじめ地域の人々とも



に伝統を守り続けています。

講元名　石田　昇
所在地　埼玉県和光市
講員数　三十件
主幹宮司　金井　國俊

修行体験講座

毎回多くの方にご参加を頂き有難うございます。あなたが「生きている」「生かされている」事の何かのきっかけになればと思います。霊山の中での鎮魂　一度ご参加なさってみてください。

一泊二日体験講座

六月二十一日(土)～二十二日(日)、九月二十日(土)～二十一日(日)
資　格　十八歳～六十才くらいまでの健康な方
開催人員　三十名まで
費　用　一万五千三百円（申込金・五千三百円振込）

日帰り体験講座

七月二十一日(祝)
費　用　五千円（申込金・全額五千円振込）
締切　開催一週間前　申込金の事前振込が必要です。

沢山の方の御参加をお待ちしております。

神楽講習会と神楽一般公開

三月九日から三日間の間、当社に伝わる太々神楽の講習会が開催されました。若い御師達が諸先輩方に神楽を御教授頂き、その振る舞いを少しでも継承してゆこうとする、真剣な眼差しを見ました。

本年も当神社の太々神楽を一般の皆様にも観賞していただけるように太々神楽を公開いたします。九月「薪神楽」は、月明かりの中で、篝火に舞う影を追い、御岳山の夜を楽しみながらご観覧ください。その他にも日中の公開や、夜神楽もございますので、御参拝に合わせお楽しみいただけます。当神社の太々神楽は、江戸中期の寛延年間と安永年間に伝えられ、昭和三十二年、東京都無形民俗文化財に指定され、現在御師により伝承されております。巫女舞は神職のお子さんを中心に伝承しておりますので、微笑むような舞がご鑑賞いただけます。また、神楽の最後には祝いの投げ餅も御座いますので、神楽の喜びをお持ち帰りになり、お召し上がり下さい。

夜神楽　四月より十一月までの毎月第四日曜日　於・神楽殿(夜間八時より)

神楽と雅楽の一般公開
六月十五日　十月十三日　於・神楽殿（午前十一時より）

薪神楽　九月十三・十四日（土・日）両日開催
於・野外特設舞台・雨天神楽殿（夜間八時より）

演目はその都度替わります。詳しくは、社務所へお問い合わせ下さい。

お御嶽さ～ん お宮めぐり

北野社

流見世棚造
瓦棒銅板葺

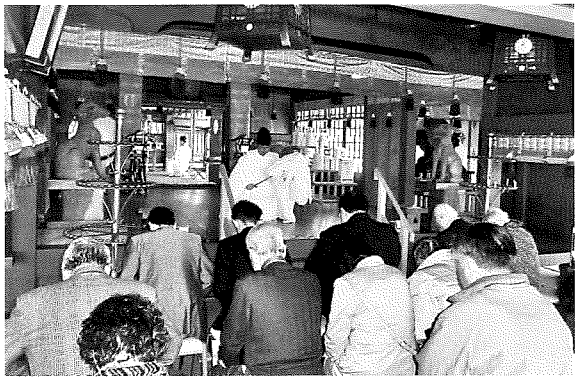
ご祭神　菅原道真神

能力開発
合格
学業、芸術上達
知識開拓

天神様と親しまれ、学問向上を願う人々の信仰をあつめております。書・筆・文具などを奉納し、向上を願う方もおります。昔は多くの子どもたちが筆を持って来ては、学業成就を願い参拝していました。

奉納俳句授賞式

残雪がまぶしい中の春分の日、奉納俳句の授賞式が執り行われました。金子千侍先生をはじめ、大勢の受賞者の方々がご来社下さり、盛大な祭典を執行する事が出来ました。数々の俳句は御岳山を題材として詠まれ、目を閉じると、その情景が浮かぶような素晴らしいものばかりでした。御岳山では四季を通じて、皆様の俳句を募集しております。大勢の方の投句をお待ちしております。



日の出祭

山伏の入峰儀式が発祥とされ、当社に於いて最も格式が高い祭とされ、日の出祭に御参加・御参列されますと、みたけ様の御稜威（みいず）をいただき、一年の無病息災・家内安全をお守りいただけるとされております。このお祭りでは、お供として行列に供奉される方や神輿を警護する鎧武者・健やかな成長を祈念する稚児を募集しておりますのでぜひ御参加ください。

五月七日　宵宮　午後八時

夕闇・御霊代（みたましろ）は絹垣に護られながら、陰燈（かげとう）のやわらかな光に包まれ幻想的な行列を粛々と進めます。

五月八日　本祭・行列出発　午前十時

御岳平（ケーブルカー駅前広場）より神輿を中心とした行列が御師集落を抜け、神の力を戴き三百段の石段を登ります。

徳川綱吉公奉納の本神輿（レプリカ）渡御

供奉料　三千円・五千円・一万円以上

鎧武者・稚児　供奉無料　　鎧の持参可能。

詳しくはお問い合わせ下さい。

第四十一回武蔵御嶽神社奉納俳句入選作品

応募総数　六一四句　　選者　金子千侍

特選

一席　かんたんは御岳の山の音色かな　青梅市　馬場克巳

二席　神領の寂深まりぬ冬桜　羽村市　杉原功一郎

三席　御師宅の屋根草に来て夏の蝶　中野区　辰巳行雄

四席　終ケーブル発ちてホームは虫しぐれ　青梅市　原島康典

五席　神職もジーパンに替え雪を刷く　多摩市　萩生田芳孝

秀逸

御師の宿下界と別の秋景色　千葉市　秋葉裕子

千年を見下ろす欅若葉かな　所沢市　遠藤タカ子

風鈴の百の音降らす山の駅　多摩市　橋本絢

ヤッホーの突き抜けてきし夏がすみ　日の出町　渡邊敏雄

みたけよりみおろす沢のお盆かな　大田区　西村清

冬空の星々に抱かれここも東京？　津市　伊藤典代

むささびの安住の地神おわす　府中市　小林敏之

杉の秀と同じ高さの置炬燵　狭山市　古谷多賀子

半分を丸刈りにされ山笑う　杉並区　木村聖哉

星飛ぶやバイオリンの音御嶽山　相模原市　関迪子

佳作

神殿に続く石段春の蟻　さいたま市　土肥寛子

空晴れてレタスのような少女かな　松戸市　林民江

大けやきより山門までの小さな秋　新宿区　中村晃也

神木に添ふ紙しでや昼霞　練馬区　津村京子

鐘の音もゆったり遠し木の芽どき　あきる野市　岩谷天津子

杉抜けて昇り来る霧御師の宿　狭山市　古谷彰宏

稲刈るや四方の風聴く道祖神　多摩市　立川明朗

眼下なる関八州に春霞　世田谷区　小森葆子

初詣山やま渡る法螺こだま　世田谷区　平井あい子

嚔してお犬様ら驚かす　所沢市　遠藤康雄

選者吟　掌に乗る天辺の棚田刈る

奉納俳句選評

特選一席

かんたんは御岳の山の音色かな　馬場克巳

秋の御岳山。夜の闇に包まれた御師のお宿の庭は、「かんたん」の鳴き声に満ちております。美しく閑かな、高音の抒情。只々酔うばかりです。

邯鄲の高音を御岳のお山の「音」と詠まれた作者。正に「言い得て妙」。素晴らしい一句です。

特選二席

神領の寂深まりぬ冬桜　杉原功一郎

冬岳のお社。総ての音を寄せつけぬ静寂にあります。

そのお庭に厳寒に耐え、併し生々と咲いている冬桜。じっと見詰める作者の心情風景に、冬桜が神域の閑けさを一手に引き寄せ、静けさを一段と募らせているのでありました。

特選三席

御師宅の屋根草に来て夏の蝶　辰巳行雄

御師宅の堂々とした家構えには、古い歴史と威厳を感じます。二尺余の茅葺きのお屋根に山の土埃や落葉などが積って、栄養の高い土壌が出来ているのです。今、その屋根畑に夏草が美しい花を咲かせ、大きな揚羽蝶がやって来て、蜜をしきりに吸っています。作者の瞳は、もう驚きと喜びで一杯でした。

特選四席

終ケーブル発ちてホームは虫しぐれ　原島康典

秋の夜の御岳山。御師のお庭など、何処へ行っても虫時雨です。併し御岳山ケーブル駅のホームは沢山の昇降客の喧騒と靴音などで人の世界です。さて今最終のケーブルが発って、待ちに待った虫の世界がやって来たのでした。ちちろ虫、馬追虫、轡虫、そして邯鄲と、もう大変な鳴き合戦です。

特選五席

神職もジーパンに替え雪を刷く　萩生田芳孝

服装に依って人の姿は全く変ってしまいます。

神に仕える人の神神しい清楚な着衣。泥塗れになってもよい様な作業衣のジーパン姿。両者似ても似つかぬもの。ふと見るとジーパン姿で雪掻きをしているのは宮司様ではないか。あー驚いた。笏を雪掻きに持ち替えた大変身。微笑みの湧く一句です。

第四十二回　奉納俳句募集要項

一、作品は未発表に限る

一、受付けは指定用紙にて投句箱へとする（郵送等直接の受付は致しません）

一、締切りは　平成二十七年一月十五日

一、発表は　平成二十七年三月中旬

神社の杜（四十二）
豪雪の恵は・・・

御岳ビジターセンター　片柳　茂生

講中の皆さんにも大変な被害をもたらしたあの大雪。山の古老に聴いても、あのような大雪は記憶にないとのことでした。御岳山では、二月八日の雪とその翌週の雪を合わせて約150cmも積もり、吹きだまり等では3m位積もった箇所もありました。

幸いにも御岳山では、神社は元より御師の家が倒壊したという被害もなく、また森林の木々が数多く折れたといった事もありませんでした。青梅市で孤立集落が一カ所とニュースでも度々報じられていましたが、その一カ所が当然この御岳山である事は、講中の皆さんであれば誰でも想像できたでしょう。

あの大雪で改めて感じたこと、それは御岳山の住民達の結束の強さと、除雪を買って出てくれたボランティアの皆さんの心遣いでした。

住民は十日間も山に閉じこめられ、その間毎日、大人の男性はもちろん、女性や子供そして七十歳を過ぎた高齢の人まで腰をいたわりながら黙々と毎日雪と戦っていました。自宅の除雪は後回し、みんなが使う道路を一致団結して除雪したのでした。しかしながら、住民達だけでは集落内の道路の除雪が精一杯でした。滝本から続く参道やケーブルの線路、そしていつもならすぐに行う神社の階段。それらをたくさんのボランティアの人達が除雪してくれました。その援助がなかったならば、さらに一週間は孤立状態が続いたことでしょう。

ところでの大雪が山に住む生き物たちにもかなりの影響を与えたことと思います。たとえばシカは、あまりに多い積雪では動けなくなり、死んでしまうと言う話があります。

近年御岳山周辺ではシカが増え、樹木や草に食害が目立つようになってきました。特に懸念されているが、夏にきれいな花を咲かせるあのレンゲショウマです。今やレンゲショウマは御岳山の観光には欠かせない存在になっていますが、そのレンゲショウマをどうもシカが食べているようなのです。御岳山では現在、シカの駆除は行われず、見守っている状態です。そして、レンゲショウマを守るにはどうしたらよいか、検討を始めていた所です。

あの大雪でたくさんの方達が被害に遭い、そして苦しい生活の営みを強いられました。でも、もしシカの数が少しでも減少してくれたのであれば、あの大雪は、神苑に育つレンゲショウマにとって御嶽大神のご加護だったのかもしれませんね。

表紙写真　鈴木　新吾

「薪神楽・篝火」

暗闇の中で、ジッと炎をみつめる・その揺らめきの中に何がみえますか・・・

あとがき

ある方に、人生とは何でしょうかと問われました。人生とは感謝の日々ではないかと思います。感謝をもって生きる心を持っていると、自ずと感謝される喜びも知ることが出来るはずです。自らが与えることによって、頂ける事もあるでしょう。人が生きている、自分が生きているという事を日々思いながら生きていけたら、すばらしいと思います。

俳句選者金子先生、中清戸講並木様、ビジターセンター片柳様には、玉稿をありがとうございました。また、今号より、講中を訪ねてと題し、当社に永年に渡り崇敬を下さる御講中を広くご紹介させて頂けたらと思います。

平成二十六年三月二十九日発行
〔年二回発行・非売品〕
編集　武蔵御嶽神社
TEL　〇四二八（七八）八五〇〇
FAX　〇四二八（七八）九七四一
http://www.musashimitakejinja.jp/
印刷　㈱成和印刷